

歴史を歩く

60

（未知なる歴史が探究心をかき立てる地域（永吉地区））②



4 永吉天神段遺跡

東九州自動車道の建設に伴い、発掘調査が行われている。

標高約 50m のシラス台地上にあり、これまでに縄文時代早期（約 7,300 年前）の巨大地震に伴う墳砂跡、縄文時代前期（約 5,000 年前）の土器・石器、弥生時代（約 2,100 年前）の集落跡・墓群、平安時代の集落跡や鎌倉時代（約 800 年前）の墓などが発見されている。



6 上谷迫の古石塔

おうえい
応永初期（14 世紀後半）～戦国時代初期（15 世紀末）の宝塔が 7 基あり、肝付家関連のものと考えられる。五輪塔 2 基も確認されている。

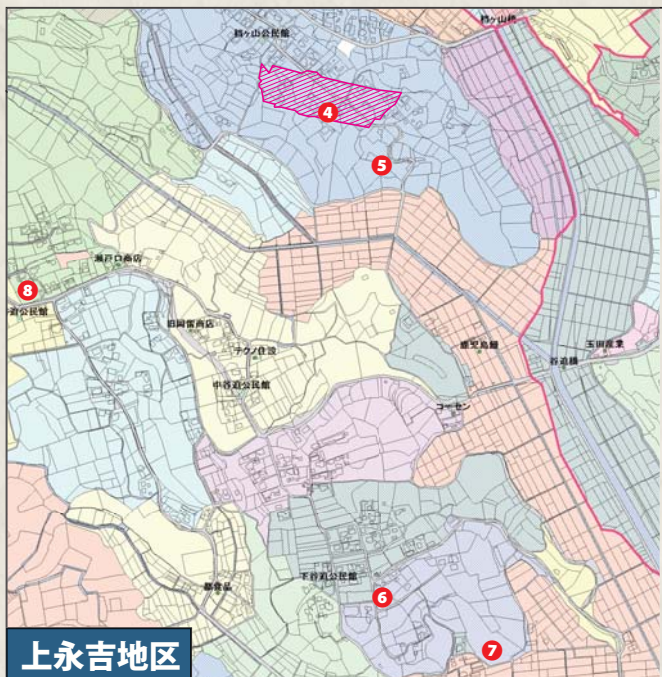
5 档ヶ山の古石塔

詳細は不明。

宝塔 3 基、五輪塔 3 基が確認されている。

7 谷迫の砲台跡

太平洋戦争の末期、志布志湾岸一帯には本土決戦に備えた陣地が構築され、谷迫にも大砲が据えた砲台が造られていた。終戦後に進駐軍が砲台の中に弾薬類を集め爆破させた。



8 谷迫の六面地藏

建立の時期は不明。

六道（地獄道、餓鬼道、畜生道、修羅道、人道、天道）のそれぞれの衆生を救済する六面の地藏しゅじょうがはっきりと確認できる。

